

2014年度日本語教育学会秋季大会

主催：公益社団法人日本語教育学会／後援：富山県，富山市教育委員会

開催日：2014年10月11日(土)，12日(日)／会場：富山国際会議場

予稿集代：会員＝4,000円 一般＝5,000円／懇親会費：3,000円

参加申込：大会当日受付でお申し出ください／連絡先：090-1999-3315(当日のみ)

■■■お知らせ■■■

参加の際には予稿集の購入が必要となります。また，会員の方は会員証を必ずご持参ください。

【第1日】10月11日(土) メインホール・多目的会議室・ホワイエ・特別会議室

第2回意見交換会	2階 特別会議室	10:00～12:00
開会式	3階 メインホール	13:00～13:20
来賓挨拶	森 雅志氏 (富山市長)	
会長挨拶	伊東 祐郎 (日本語教育学会会長)	
司会	庵 功雄 (大会委員長)	
パネルセッション	2階 多目的会議室，3階 メインホール	13:40～18:00
教材紹介コーナー (入場無料)	3階 ホワイエ (南側)	14:00～17:50
懇親会	3階 ホワイエ (東側)	18:20～20:00

【1日目：同時開催のイベント】

大会委員会企画セミナー	2階 特別会議室	18:10～20:30
-------------	----------	-------------

【パネルセッション】

《第1会場》3階 メインホール

- ① 13:40～15:40 **大介護時代に日本語教育はどう貢献するか**
—介護用語の平易化の必要性と可能性—
遠藤織枝(元文教大学大学院)，田中雅英(東京都社会福祉協議会)，
佐藤富士子(大妻女子大学)，三枝令子(一橋大学)，
川村よし子(東京国際大学)
- ② 16:00～18:00 **日本語教育における映像系大規模eラーニングのあり方**
—3サイトの比較から見る現状と課題—
今井新悟(筑波大学)，海野多枝(東京外国語大学大学院)，
磯村一弘(国際交流基金日本語国際センター)，篠崎大司(別府大学)

《第2会場》2階 多目的会議室 201・202

- ③ 13:40～15:40 **ろう者の複数言語環境が示唆する日本語教育の課題**
佐々木倫子(桜美林大学大学院)，長谷部倫子(明晴学園)，
佐藤啓子(亜細亜大学)，若月祥子(韓国・弘益大校)
- ④ 16:00～18:00 **日本語を母語としない生徒にとっての「文章理解の壁」**
田中牧郎(明治大学)，阿保きみ枝(一橋大学大学院生)，
筒井千絵(フェリス女学院大学)，志村ゆかり(東京経済大学)，
石黒圭(一橋大学)

《第3会場》2階 多目的会議室 203・204

- ⑤ 13:40～15:40 **「私らしく」書けるようになるためのウェブ型日本語教材の開発**
小林ミナ(早稲田大学大学院)，松田真希子(金沢大学)，
副田恵理子(藤女子大学)，大和えり子(マレーシアプトラ大学)

【第2日】 10月12日(日) 多目的会議室・ホワイエ・特別会議室

口頭発表	2階 多目的会議室 201・202・203・204	9:30~14:40
ポスター発表	3階 ホワイエ (南側)	10:30~15:00
デモンストレーション発表	3階 ホワイエ (東側)	10:30~15:00

【2日目:同時開催のイベント】

“日本語パートナーズ”派遣事業説明会	2階 多目的会議室 201	12:00~12:50
日本語教育研究推進セミナー	2階 特別会議室	11:30~13:00

【口頭発表】

《第1会場》2階 多目的会議室 201

- ① 9:30~10:00 **協調的な言語行動としての共同発話文**
—会話データから日本語教育に示唆されること—
木林理恵(日本学生支援機構)
- ② 10:10~10:40 **教室内におけるPCR 活動及びディスカッションを用いた指導の効果**
—授受補助動詞表現「てくれる」を対象として—
黒田亮子(広島大学大学院生)
- ③ 10:50~11:20 **ストーリーに基づくタスク教材を用いたビジネスメール・ビジネス文書作成指導の効果**
向山陽子(お茶の水女子大学), 山辺真理子(立教大学),
村野節子(武蔵野大学)
- ④ 13:30~14:00 **非母語話者は母語話者の「説明」をどのように評価するか**
—母語話者の「説明」に対する第三者評価の分析—
柳田直美(一橋大学)
- ⑤ 14:10~14:40 **就労外国人が書いた日本語の履歴書の記述に対する日本語母語話者の評価**
—評価方法の違いが評価結果に与える影響—
千葉月香(名古屋大学大学院生)

《第2会場》2階 多目的会議室 202

- ⑥ 9:30~10:00 **上級日本語学習者の主語と目的語の主題化**
—中国語, 英語母語話者の受容性判断課題を用いた検討—
小口(高田)悠紀子(広島大学大学院生)
- ⑦ 10:10~10:40 **韓国語母語話者による統語的複合動詞「V 始める」の習得について**
—母語の影響を中心に—
團迫雅彦(九州大学), 一瀬陽子(福岡大学), 木戸康人(神戸大学大学院)
- ⑧ 10:50~11:20 **L2 語彙推測における語彙知識の質と量の影響**
山方純子(神田外語大学大学院)
- ⑨ 13:30~14:00 **タイ人学習者の日本語読解に対する不安**
—言語習熟度と読解力との関係—
サグアンシー・タンヤーラット(神田外語大学大学院生)
- ⑩ 14:10~14:40 **日本生まれ・育ちのJSL の子どもの《日常語彙》の産出能力**
—小1~中3 調査の結果と誤答の分析—
青木由香(富山県西部教育事務所), 西川朋美(お茶の水女子大学大学院),
樋口万喜子(横浜国立大学), 細野尚子(鎌倉市立御成小学校)

《第3会場》2階 多目的会議室 203

- ⑪ 9:30～10:00 **日本語非母語話者教師と母語話者教師の協働の現状と課題**
—タイと韓国的高校における母語話者教師対象の調査による考察—
門脇薫(摂南大学), 中山英治(いわき明星大学), 高橋雅子(青山学院大学)
- ⑫ 10:10～10:40 **eポートフォリオによる作文指導を通じた教師の実践知の変容と学習者への影響**
中井好男(大阪大学), 毛利貴美(関西大学)
- ⑬ 10:50～11:20 **社会的視点からみた第二言語習得におけるオンラインコミュニティの可能性**
—Facebookを用いた実践から—
高橋敦(桜美林大学大学院修了生)
- ⑭ 13:30～14:00 **四字熟語を題材とした漢文入門の教材の提案及び実用性の検証**
—ロシア人日本語学習者に対する調査結果の分析を中心に—
GRIB Dina(首都大学東京大学院生)
- ⑮ 14:10～14:40 **日本語学習者の「助言」におけるポライトネス・ストラテジー**
—中国語を母語とするJSLとJFLのデータをもとに—
松本陽子(神田外語大学)

《第4会場》2階 多目的会議室 204

- ⑯ 9:30～10:00 **EPAによる外国人看護師・介護士候補者の直面する方言の問題について**
今村かほる(弘前学院大学), 中島祥子(鹿児島大学)
- ⑰ 10:10～10:40 **生活者のための日本語教育における対話の有効性について**
岩見宮子(国際日本語普及協会)
- ⑱ 10:50～11:20 **「外国の人にもわかりやすい」文書への書き換え**
—日本語教師とテクニカルライターの違い—
中北美千子(国立国語研究所), 野田尚史(同)
- ⑲ 13:30～14:00 **アニメーション, マンガと日本語学習の関わりのダイナミズム分析**
—アニメーション, マンガを専門とする元学習者へのインタビュー調査から—
臼井直也(東京外国語大学大学院生)

【ポスター発表】

《会場》3階 ホワイエ (南側) ●10:30～12:30 ○13:00～15:00

- ① **Can-doを活用した学部日本語カリキュラムのリ・デザイン**
—J-GAP 中日アーティキュレーション・プロジェクトの活動から—
堀井恵子(武蔵野大学大学院)
- ② **論理的思考力の育成を目的とした上級クラスの授業デザイン**
—口頭表現クラスと文章表現クラスの連携—
鈴木秀明(目白大学), 山口恵子(桜美林大学)
- ③ **大学における「多文化交流科目」の制度化と促進**
—留学生と日本人学生がともに学ぶクラスを中心とした有機的な学内連携—
小河原義朗(北海道大学), 鄭惠先(同), 山田智久(同)
- ④ **身近にある言語景観を素材とした内容重視の多文化日本語クラス**
磯野英治(大阪大学)
- ⑤ **断りのEメールにおける理由の述べ方**
—中国人留学生を例に—
深澤のぞみ(金沢大学), 桑原陽子(福井大学), 濱田美和(富山大学),
古本裕子(名古屋学院大学)

- ⑥ **学習者コーパスに見られる「ていない」の習得順序**
—縦断的・横断的観点から—
趙麗雯(首都大学東京大学院生)
- ⑦ **多文化教員研修の講師はその実践を通じて何を学んだか**
—実践者の内省から—
浜田麻里(京都教育大学), 齋藤ひろみ(東京学芸大学), 市瀬智紀(宮城教育大学),
金田智子(学習院大学), 河野俊之(横浜国立大学), 橋本ゆかり(同),
上田崇仁(愛知教育大学), 川口直巳(同)
- ⑧ **e-Learning 制作者の語りから見えてくる日本語教育の未来**
芹川佳子(早稲田大学大学院生)
- ⑨ **年少者支援における親の支援の影響について**
—ブラジル人年少者調査から—
中河和子(トヤマ・ヤポニカ), 田上栄子(同)
- ⑩ **作文授業のピア・レスポンスにおける中国人日本語学習者の参加態度**
—書き手の受容の観点から—
吉陽(筑波大学大学院生)
- ⑪ **中国語を母語とする中・上級日本語学習者の聴解力と語彙力, 問題解決能力, 作動記憶容量の関係**
—共分散構造分析を用いた検討—
前田由樹(エリザベト音楽大学), 松見法男(広島大学)
- ⑫ **ブックレポート形式の口頭発表における定型表現の指導**
—その有効性と話題移行に関する課題—
八木真生(東京外国語大学), 大津友美(同)
- ⑬ **入門期学習者が能動的に会話に参加するためのストラテジー・表現の学習と効果**
—初対面会話における「聞き返し」と「話題開始」に着目して—
上原由美子(神田外語大学)
- ⑭ **ケース教材を用いた実践トレーニングプログラムの開発**
—ビジネスを巡る多様な視点から—
近藤彩(麗澤大学), 品田潤子(国際日本語普及協会), 池田玲子(鳥取大学),
藤原未雪(国立国語研究所), 小笠恵美子(東海大学), 金孝卿(大阪大学)
- ⑮ **アカデミック・ジャパニーズイメージモデルと新規教材開発に向けての既存教材の特性分析**
札幌野寛子(金沢工業大学), 深川美帆(金沢大学), 深澤のぞみ(同), 濱田美和(富山大学)
- ⑯ **日本人住民・パキスタン人住民の「多文化共生」を目指した連携の成立過程**
—当事者意識の変容に着目して—
福永由佳(国立国語研究所), 中河和子(トヤマ・ヤポニカ)
- ⑰ **日本企業に新卒入社した元留学生社員の入社後の能力変化**
—工学系中国人元留学生を対象とした実態調査—
山田明子(九州大学)
- ⑱ **「生活者としての外国人」に対する第二言語教育における教師の教授行動と学習意欲**
—ドイツの移民に対する言語教育現場から日本語教育への提言—
足立祐子(新潟大学), 松岡洋子(岩手大学), 今村和宏(一橋大学)
- ⑲ **モデル音声の有無による発音自己評価の相違**
渡辺裕美(筑波大学大学院生)

- ⑳ **留学生の渡日前の留学経験が日本語読解教材の読みに何をもたらすか**
—日本語学習者 AB に対する留学前・中・後の PAC 分析インタビューから—
丸山千歌(立教大学), 小澤伊久美(国際基督教大学)
- ㉑ **自律的学習スタイルを獲得する上で学習者が抱える問題**
—日本語学習者へのインタビュー調査から—
高木佳奈(佐賀大学), 山路奈保子(室蘭工業大学)
- ㉒ **中国人中級日本語学習者の中国語単語の日本語口頭翻訳における心内辞書の働き方**
—聴覚呈示事態における中日間の形態・音韻類似性の影響—
費曉東(広島大学), 松見法男(同)

【デモンストレーション発表】

《会場》ホワイエ（東側） ●10：30～12：30 ○13：00～15：00

- ① **日本語学習アドバイジングを支える「ナレッジベース蔵」**
黒田史彦(早稲田大学)
- ② **品詞情報を考慮した使いやすいテキスト解析器の作成**
宮西由貴(長岡技術科学大学大学院)
- ③ **中級漢字圏学習者向け教材「4日でマスター日本語の漢字音」の開発**
前原かおる(東京大学), 増田真理子(同), 藤田朋世(同), 渡部みなほ(同), 菊地康人(同)
- ④ **大規模公開オンライン講座(MOOC)用教材『NIHONGO Starter』の開発**
篠原亜紀(国際交流基金日本語国際センター), 築島史恵(同)

【10月12日：“日本語パートナーズ”派遣事業説明会】

《会場》2階 多目的会議室 201 12：00～12：50

独立行政法人国際交流基金アジアセンター

※事前申込不要。直接会場へお越しください。

定員：60名

参加費：無料

参加条件：秋季大会参加費を支払っていること。

【10月12日：日本語教育研究推進セミナー「競争的研究資金申請書の対策講座」】

《会場》2階 特別会議室 11：30～13：00

公益社団法人日本語教育学会 調査研究推進委員会

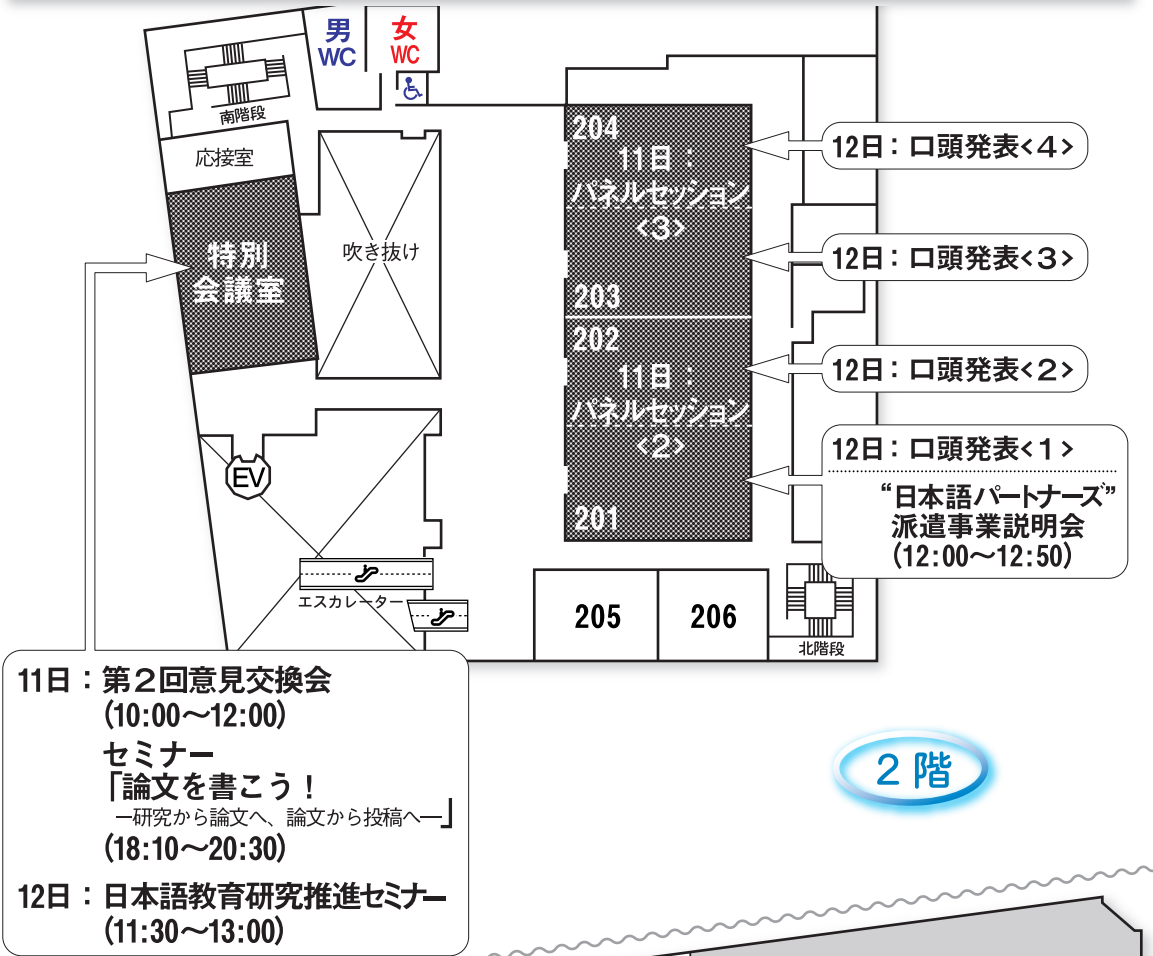
※事前申込制。詳細は学会 HP 参照。

会場への交通案内 富山国際会議場



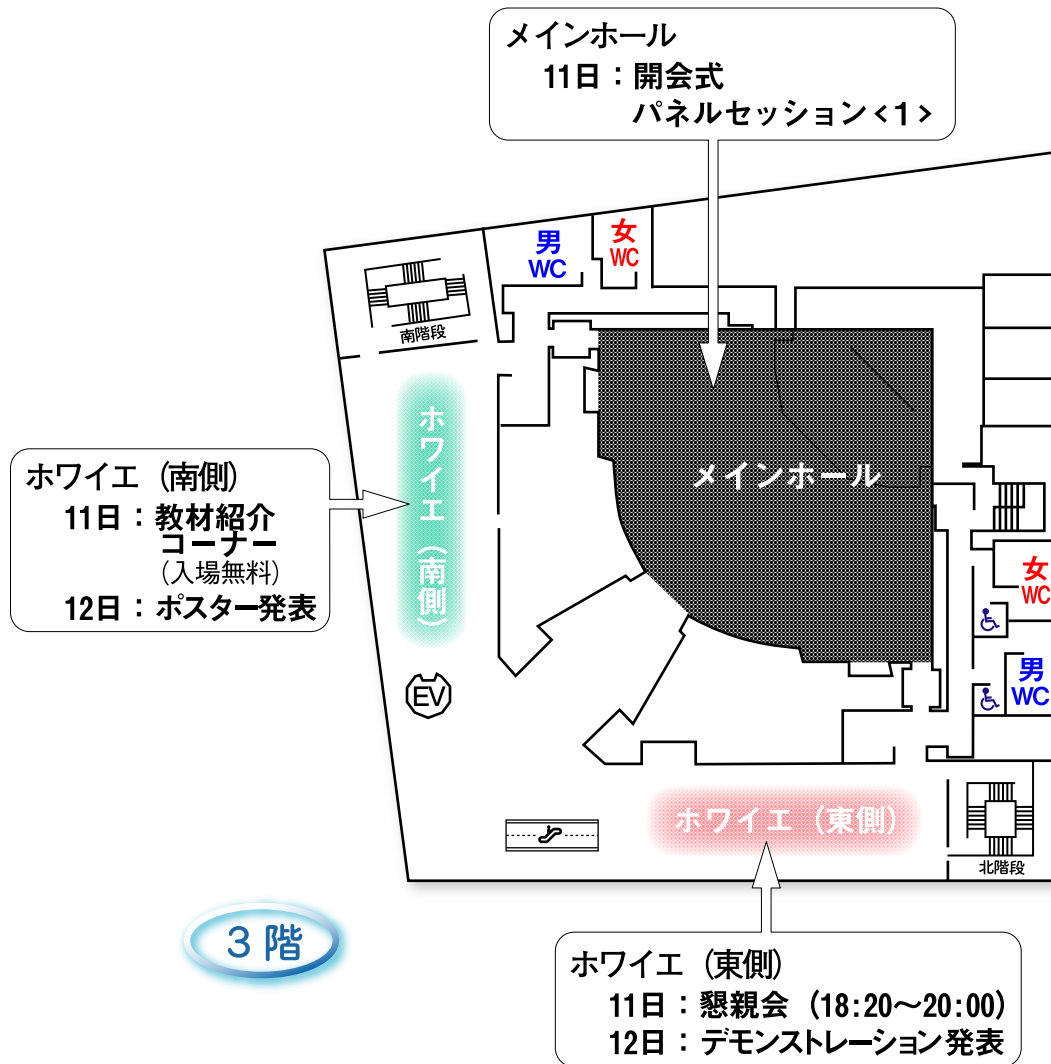
地図中の道路は主な道路です。実際にはここに示されていない路地が多数あります。徒歩で移動される方は、更に詳しい地図を入手されることをお勧めします。

会場平面図 富山国際会議場



♿WC…洗面所
 EV…エレベーター

入館口



3階

【会場の最寄り駅・空港まで】

■所在地

富山県富山市大手町1-2
<http://www.ticc.co.jp/access/index.html>

●北海道から

■飛行機利用

◇千歳空港～富山空港 AIR DO 1日1便就航 所要時間 1時間30分
時刻表 <http://www.toyama-airport.jp>

●関東および関東以北方面から

■飛行機利用

◇羽田空港～富山空港 ANA 1日6便就航 所要時間 約55分
時刻表 <http://www.toyama-airport.jp>

■列車利用

◇各方面から→JR東京駅《JR上越新幹線とき=1時間10分》
→越後湯沢駅《ほくほく線～JR北陸本線特急はくたか=2時間》→JR富山駅

■高速バス利用

◇富山地方鉄道株式会社 <http://www.chitetsu.co.jp> 6時間30分 /ほか各社

●東海方面から

■列車利用

◇各方面から→JR名古屋駅《JR北陸本線特急しらさぎ=3時間30分》→JR富山駅
◇各方面から→JR名古屋駅《JR高山本線特急ワイドビューひだ=4時間》→JR富山駅

■高速バス利用

◇富山地方鉄道株式会社 <http://www.chitetsu.co.jp> 3時間45分 /ほか各社

●関西・中国・四国方面から

■列車利用

◇各方面から→JR大阪駅《JR北陸本線特急サンダーバード=3時間15分》→JR富山駅

■高速バス利用

◇富山地方鉄道株式会社 <http://www.chitetsu.co.jp> 5時間30分（夜間は7時間50分）
ほか各社

●九州方面から

■飛行機利用

◇各方面から→羽田空港～富山空港 ANA 1日6便就航 所要時間 約55分
時刻表 <http://www.toyama-airport.jp>

■列車利用

◇各方面から→JR博多駅《JR新幹線のぞみ=2時間30分》
→JR新大阪駅《R北陸本線特急サンダーバード=3時間10分》→JR富山駅

【最寄り駅・空港から会場まで】

●JR富山駅よりお越しいただく場合

バス・・・約5分「城址公園前」下車 徒歩3分
徒歩・・・城址大通りを南へ約15分
市内電車（セントラム）・・・約7分「国際会議場前」下車

●富山空港よりお越しいただく場合

タクシー・・・約20分
バス（空港連絡バス）・・・約25分「総曲輪（そうがわ）」下車 徒歩2分

◎所要時間は、おおよその目安として記載してあります。

■タクシー会社

富山交通	076-421-1122
大和交通	076-421-8181
地鉄タクシー	0120-21-4200
新富タクシー	076-421-2121

※富山駅、富山空港には常時タクシーが待機しておりますが、それ以外の場所ではタクシーの駐機はなかなかございませんのでご注意ください（市内ホテルでも一部のホテルしか駐機していません）。
※流しのタクシーはございません。お電話での配車が必要です。